

貨客混載バス(ヒトものバス)が「2015 年度 グッドデザイン賞」を受賞

岩手県北自動車株式会社(盛岡市; 代表取締役社長 松本 順)の貨客混載バス(ヒトものバス)が、このたび 2015 年度グッドデザイン賞(主催: 公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞しました。貨客混載バスは、旅客・貨物双方のネットワークの維持と安全性を追求しながら輸送に係る空間デザインの再配置に取り組んだ結果、特に「中山間地域の公共交通とロジスティクスにおいて、移動空間のデザインに着目することで、人物一体輸送を実現する画期的なモビリティデザイン」として高く評価されました。当社では、今回の受賞を契機に貨客混載バスのエリア拡大を図るとともに、移動空間におけるデザインの活用を積極的に推進し、ブランドイメージの向上に務めてまいります。

□ 名称: 貨客混載バス(ヒトものバス)

□ 概要: 岩手県中山間地域の路線バスと貨物トラックが並走しているエリアにおいて、従来トラックで運送していた貨物の一部を路線バスの空きスペースを活用して輸送すること(貨客混載)によって、バス路線の生産性向上によるバス路線の維持が図られ、地域住民にとってはバスが安定的に利用できることから、生活基盤の維持・向上に繋がるもの。また、物流業界でもドライバー不足により物流網の維持が難しくなる中で、物流の効率化が図られ、トラックの集配の効率化やセールスドライバーの集配負担軽減による作業効率向上とそれに伴う地区住民へのサービス向上にも繋がる。なお、今回この取組みの実施にあたり、車両後方の座席を減らして、荷台スペースを確保した開発車両を導入している。

□ プロデューサーからのコメント

東日本大震災の5日後に運行を再開した盛岡・宮古間の都市間バスは、多くの旅客を輸送すると共に支援物資など荷物だけの輸送の依頼も多く、バス車両は人と荷物を満載して運行していた。そのこともあり当該路線を中心に旅客と貨物を一体化して輸送する施策の実現可能性を考えたものである。この取組によりバスの生産性の向上が図られることから、各地で維持に苦戦している路線バスの対策の一つになってほしいと願っている。

□ グッドデザイン賞審査委員による評価コメント

中山間地域の公共交通とロジスティクスは危機的な状況に陥っているといっている。同一路線を走る移動空間のデザインに着目することで、人物一体輸送を実現する画期的なモビリティデザイン。バス車内空間を再配置することで、物流の集配運行の効率化を同時に実現している点を高く評価したい。

□ グッドデザイン賞ウェブサイトでの紹介ページ

<http://www.g-mark.org/>

<http://www.iwate-kenpokubus.co.jp/>



◎グッドデザイン賞受賞展「グッドデザインエキシビション 2015 (G展)」に出展

本年 10 月 30 日 (金) から東京ミッドタウンで開催される、最新のグッドデザイン全件が集まる受賞展「グッドデザインエキシビション 2015 (G展)」会場で、貨客混載バス (ヒトものバス) が本年度受賞デザインとして紹介されます。

[グッドデザインエキシビション 2015 (G展)]

会期: 10 月 30 日 (金) ~ 11 月 4 日 (火)

会場: 東京ミッドタウン (東京都港区六本木)

<http://www.g-mark.org/meeting>

グッドデザイン賞とは

グッドデザイン賞は、1957 年創設のグッドデザイン商品選定制度を発端とする、日本唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。これまで 59 年にわたり、デザインを通じて日本の産業や生活文化を向上させる運動として展開され、のべ受賞件数は 40,000 件以上にのぼります。今日では国内外の多くの企業や団体などが参加する世界的なデザイン賞で、グッドデザイン賞受賞のシンボルである「G マーク」は、すぐれたデザインを示すシンボルとして広く親しまれています。

<http://www.g-mark.org/>



※貨客混載バスの写真データを用意しています。下記お問い合わせ先までご請求ください。

このプレスリリースに関するお問い合わせ先
岩手県北自動車株式会社 乗合事業部
担当: 荒屋敷 TEL: 019-641-7770
E-mail: noriai001@iwate-kenpokubus.co.jp